

## はじめに

コンピュータシステム・シンポジウム(Computer System Symposium、ComSys)は、情報処理学会「システムソフトウェアとオペレーティング・システム」研究会(SIGOS)が主催するシンポジウムです。今年も、富士通研究所において開催されます。1987年に第1回コンピュータシステム・シンポジウムが開催され、システムソフトウェア分野の最新の研究成果が集まる機会として今回で第29回を数えます。本シンポジウムは、OSを中心に分散処理、並列処理、オブジェクト指向を経て、仮想化、クラウドコンピューティング、ディペンドブルコンピューティング、セキュリティとその基盤ソフトウェアなどを題材として、OS やシステムソフトウェアの最先端の話題を取上げ、時代の流行を先取りした研究テーマを議論してきました。

今回も前年度と同様、併設していた研究会をComSysに取り込み、コメントフィードバック制度を設けました。また、今年も BitVisor Summit 6 を開催する日程となっています。システムソフトウェアの研究者、また日本発の仮想マシンモニタである BitVisor の開発者、BitVisor を題材として研究を展開している研究者との議論を通じて、お互いのコミュニティ自身を活性化する起爆剤となることを期待しております。

ComSys 2017 のコメントフィードバックは、前年同様、投稿いただいた論文は全て発表していただく上に、投稿者自身がどのようなコメントが欲しいかをリクエスト可能な形式としました。いただいたリクエストを元に、OSコミュニティの研究者を中心としたレビューアが投稿いただいた論文に対してコメントを著者に送るという仕組みになっています。著名な国際会議や海外論文誌へ投稿、研究の位置づけの明快化など、推進している研究をステップアップさせる場としてComSysを利用していただくことが狙いです。今回は12本の論文が投稿され、内容はオペレーティングシステムのコア技術やセキュリティといったソリッドな話題になっており、当日の発表では深い議論を行えればと考えております。また、例年好評のポスター発表も実施いたします。招待講演には、ヤフー株式会社より角田直行氏をお招きし、ディープラーニングに特化したスーパーコンピュータ「Kukai」に関するご講演をいただきます。また、システム分野の主要会議で採択となった論文を発表する招待凱旋発表や出張報告など、イベントが目白押しとなっています。

OSやシステムソフトウェア分野の発展は、新たなアプリケーションを産み出し、新しいハードウェアプラットフォームを活かしていくという意味で、大きな社会的使命を担っております。本シンポジウムから次の時代のOSやシステムソフトウェアを生み出せればと考えております。また、システムソフトウェアの研究開発、産学連携、人材発掘と育成、人的交流などを今後も推進していければと考えております。今後とも本研究会およびシンポジウムがさらに発展するよう、今後とも皆様のご支援・ご協力を賜れば幸いです。

2017年12月  
第29回コンピュータシステム・シンポジウム 運営委員長  
光来 健一 (九州工業大学)  
第29回コンピュータシステム・シンポジウム 幹事  
山田 浩史 (東京農工大学)